

イチゴ生産、成果紹介

岐阜市 研修所卒業生が発表



卒業生らがイチゴ栽培の実績を紹介した報告会
＝岐阜市長住町、ホテルリソル岐阜

J A全農岐阜は、2008年に岐阜市で開設したいちご新規就農者研修所の成果報告会を岐阜市内のホテルで開き、卒業生3人がイチゴの栽培面積の拡大、経営などのテーマでそれぞれ

実績を紹介した。

J A全農岐阜は、生産者の高齢化や担い手不足に対応するため、岐阜市曾我屋に就農希望者向けの研修所を創設した。14年間で県内生産者の22%に当たる53人

の卒業生が就農した。生産の知識、基礎を学べるほか、農地のあっせんやハウスの設計、県、市町村の補助金申請に必要な就農計画の作成支援など、手厚いサポートで全国的にも評価が高い。定員は各期生4人、研修期間は14カ月。

報告会では、美濃加茂市で就農した第3期生の男性がスタート直後の12㍓から53㍓へと拡大し、雇用も増やした成果を紹介。各務原市で就農した第4期生の男性は「農業をビジネス、つまり事業と考え、納期を必ず守るよう自らを律するべき」と現役生らに強く促した。同じく各務原市で栽培を始めた第11期生の元カフェ経営の男性は、今後の作付け面積や事業規模拡大の計画を語った。

(三輪真大)